

令和5年度 社会人教育全コース共通講義
シリーズテーマ：カーボンニュートラルを実現するテクノロジー

大阪大学ナノプログラム社会人教育において全コース共通の講義(全4回)の第4回を下記内容で開催致します。

これらの講義は出席日数として算定されますので、厚生労働省の「人材開発支援助成金」、「専門実践教育支援助成金」を申請しておられる受講生はご注意ください。

申し込み先： nano-program@insd.osaka-u.ac.jp

申し込み期日：3月8日(金)までに、大阪大学豊中キャンパス・四日市商工会議所でご受講の方、欠席予定のかたはご返信ください。尚、オンライン受講の方は返信不要です。

本共通講義はコンソーシアム会員企業所属の社員の方々もご聴講いただけますので、ご周知いただければ幸いに存じます。**ご希望者は氏名、メールアドレス、受講方法を明記の上、上記申込先宛てにお申し込み下さい。**

記

シリーズテーマ： 「カーボンニュートラルを実現するテクノロジー」

開講時間：令和6年3月13日(水) 18時～21時

受講方法：大阪大学豊中キャンパス(文理融合型研究棟3階セミナー室 305号室)、四日市商工会議所、CiscoWebEXMeetingでの遠隔配信

第1回：

前半(午後6時～7時30分)

講演者：鈴木 石根 氏(筑波大学大学院生命環境科学研究科 教授)

題目：微細藻類：未来のエコバイオマス生産への道

概要：微細藻類は、個々の細胞が光合成を行い、油脂などの貯蔵物質を高効率に生産するため、陸上植物に比べて優れた油脂生産性を持っている。この特徴を活かし、CCU(Carbon Capture and Utilization：炭素捕捉と利用)の手段として微細藻類によるバイオマス生産が注目されている。この講演では、微細藻類が持つ特徴と、将来的に改善すべき点について議論する。

後半（午後 7 時半～9 時）

講演者：香坂 玲氏（東京大学大学院農学生命科学研究科／名古屋大学大学院 環境学研究科教授）

題 目：自然資本・生態系サービスの最前線：情報開示、生物模倣からネイチャーポジティブまで

概 要：企業・地域・地域社会にとっての地元の自然、企業や行政にとっての自然資本や生物多様性について概説します。市民参加型の実践や現場から国際交渉まで、まとめて自然資本・生物多様性の最前線の情報について、国連でも勤務していた経験を踏まえお話しします。

以上